

競技上の注意等

第79回 国民スポーツ大会卓球競技青森県選手選考会

審判長 木村 茂

本大会の競技ルールは、現行の日本卓球ルールを適用して実施します。

- 試合方法は
 - 試合は全て個人戦とし、11本5ゲームマッチで行う。
 - タイムアウト制は適用しない。ただし、決勝リーグ戦より採用する。
- 使用球は
 - (公財)日本卓球協会公認プラスチック球40mm(ホワイト)のみとします。
 - ニッタク(ペラムクリーン)・VICTAS・バタフライ(R40+)の3種類から選択してください。
- ラケット、ラバーについては、JTTAA、ITTFのマークの付いているものを使用してください。JTTAAの付いていない外国製ラケットを使用する場合は、試合前に審判長の許可を受けて下さい。
- ゼッケンは(公財)日本卓球協会指定「2025年度用」のものを使用してください。
- アドバイザーについて
 - アドバイザーのベンチ入りを認める。ただし、ベンチの掛け持ちは、2ヶ所までとします。
- 審判について
 - 審判は敗者審判としますが、第1試合の審判は、タイムテーブルの欄に記載されていますのでご協力をお願いします。決勝リーグ戦は、成年女子は相互審判、その他は主任審判が行う。
- その他の注意事項
 - 試合はタイムテーブルに従って進行しますので、試合ごとの選手の呼び出しはありません。選手は、試合の進行を確認し前の試合が終わり次第コートに入るようお願いします。
 - 予選トーナメントの後、決勝リーグ戦を行うまで試合順序を決めるために多少時間をいただきますのでご了承ください。
- 選手選考については
 - 成年男子は予選トーナメント戦で4ブロックの決勝戦に進出した8名を選び、決勝リーグ戦で上位4名を候補選手とします。
 - 成年女子は、6名による決勝リーグ戦を行い、上位4名を候補選手とします。
 - 少年男子は、予選トーナメント戦で4ブロックの決勝戦に進出した選手の得点率で上位7名を選び、前年度本大会に出場した選手は、予選トーナメント戦を免除し、決勝リーグ戦からの参加とすることで、決勝リーグ戦は、8名で行う。決勝リーグ戦で上位4名を候補選手とします。
 - 少年女子は、予選トーナメント戦で4ブロックの決勝戦に進出した8名を選び、決勝リーグ戦で上位4名を候補選手とします。
 - 予選トーナメント戦の対戦成績は、決勝リーグ戦に持ち越すこととする。

ただし、優先選手が国民スポーツ大会に出場可能な場合は、優先選手が優先的に国民スポーツ大会の代表選手となります。

東北総合スポーツ大会及び国民スポーツ大会の選手選考は、青森県卓球連盟常任理事会において決定します。

優先選手

(理事会決定事項) 成年男子: 神巧也 高木和卓 及川瑞基 成年女子: 工藤夢 船場清華

東北・全国大会日程

◆東北総合スポーツ大会兼国民スポーツ大会予選会日程

期日: 令和7年 8月29日(金) ~ 31日(日) 会場: 宮城県 気仙沼市総合体育館

◆国民スポーツ大会日程

期日: 令和7年 9月28日(日) ~ 10月2日(木) 会場: 滋賀県 野洲市総合体育館